



backslash

EDGES, 2021

世界を形づくる40のカルチャーシフト

YEAR ZERO

毎年1月になると、新たな始まり、ワクワクするトレンドやカルチャーの話題が活発になります。しかし今年はもっと大きな意味合いを持つことになるでしょう。新型コロナウイルスの感染拡大は、グローバルなリアリティ、社会規範や個人の考え方を計り知れないほど一新させました。一つの世界が終わって、新しい世界に生まれ変わっています。2021年は次の年ではなく「イヤーゼロ」なのです。トレンドを知るためだけでなく、新たな時代の始まりに触れてもらうためにエッジをまとめました。

私たちは劇的な変化に直面して「戦いと逃避」「暗闇と光」「保守主義への回帰と想像力の推進」など、それぞれの狭間で悩む日々を送っています。大転換は決して心地良いものではないですが、明るい明日が見えています。

2021年度版エッジでは、この希望あふれるストーリーを、Chaos, Preservation, Advancement, Identity, Liberation, Rebirthの6章に分けて紹介します。

この資料では、世界を具現化する40のグローバルカルチャーシフトを紹介します。これは世界中にいる300人以上のTBWA「カルチャースポッター」が共同し、専門性を駆使してまとめたものです。ボゴタからベルリン、キガリからクアラルンプール、ニューデリーからニューヨークまで世界中のインサイトが活かされています。

カルチャーの動きは速く、複雑で、誤解を招くこともあります。このエッジによって、成長のために希望的でインスピレーションが湧き、前進するための明確な方向性が出せることを願っています。カルチャーは私たちのストーリーです。未来に誇れる新たな一章描くために、今ままで以上に私たちの力が試されています。

ようこそ2021年。ようこそイヤーゼロへ。

WHAT IS AN EDGE?

EDGE / 'ej / noun

ブランドが中長期的なシェアを伸ばす原動力となる
一定の規模と持続性を有する重要なカルチャーシフト。

1

エッジは、人間的の根源的価値に根差しており、消費者行動を通じて認識でき、ビジネスへの影響が明らかに見て取れるもの。

2

エッジは、一年以上持続して現象化しているカルチャーシフトであり、それが未来に対しても重要な影響力をもつもの。

3

エッジは、グローバルで通用し、Backslashが指定する地域の半分以上で顕在化しているもの。

GLOBAL SENSARY

ROOTS REVIVAL

DATA RUSH

GENDER RULES

FLUID SPACES

ANXIETY INDEX

KINDER CULT

FRUGAL ICIOUS

HELICOPTER THE CH

RELATIONSHIP REBELLION

NEW SCHOOL

REWILD RESILIENCE

INCLUSIVE BY DESIGN

WEALTH WARFARE

DOOM COMEDY

STERILE SOCIETY

AI JFY

ACTIVIST AWAKENING

DEATH UNDONE

CLIMATE CREDIT

PLAY FORWARD IT

CHAOS

PRESERVATION

ADVANCEMENT

IDENTITY

LIBERATION

REBIRTH

GUIDE US

BODY DEBATES

MODERN MAKESHIFT

ZERO U

PLATFORM POLITICS

VAPORIZED

MONEY LOUD

TRAVEL RIGHT

HOME HQ

SURVIVALISM

MOOD GEISTING

OPTIMIZED ANATOMY

WORK-LIFE BOUNDARIES

HEALTH HEDONISM

COUNTER CANCEL

FEMPOWERMENT

STEALTH MODE

STABILITY PURSUIT

UNGLOSSED

CONSCIOUS CONVIENCE

EDGE S

CHAOS

- Anxiety Index.....7
- Wealth Warfare.....8
- Body Debates.....9
- Home HQ.....10
- Doom Comedy.....11
- Kinder Cult.....12
- Guide Us.....13

IDENTITY

- Vaporized.....31
- Gender Rules.....32
- Work-Life Boundaries.....33
- Relationship Rebellion.....34
- Activist Awakening.....35
- New School.....36

PRESERVATION

- Survivalism.....15
- Zero Out.....16
- Mood Geisting.....17
- Roots Revival.....18
- Fruga-licious.....19
- Modern Makeshift.....20
- Sterile Society.....21

LIBERATION

- Counter Cancel.....38
- Unglossed.....39
- Conscious Convenience.....40
- Money Out Loud.....41
- Death Undone.....42
- Health Hedonism.....43

ADVANCEMENT

- Platform Politics.....23
- Data Rush.....24
- Helicopter Tech.....25
- AI-ify.....26
- Optimized Anatomy.....27
- Stability Pursuit.....28
- Stealth Mode.....29

REBIRTH

- Inclusive By Design.....45
- Fempowerment.....46
- Play It Forward.....47
- Climate Credit.....48
- Travel Right.....49
- Fluid Spaces.....50
- Rewild Resilience.....51



CHAOS

混沌

COVID-19によって、変化の力は不安やプレッシャーと背中合わせとなっています。これまで描いていた未来予想図はひっくり返り、書き換えられ、そして捨て去られてしまったこともあるでしょう。

文化の戦争から情報戦争、経済危機から公衆衛生、細胞から魂までもが危機に瀕しています。対立は至るところに存在します。混乱に直面した私たちはコメディ、ノスタルジアあるいは神秘主義の形態に救いを求めています。ときには不謹慎だと言われる行為を、ときには強気のコントロールをもって、人々を圧力から解放する役割をブランドが担うことを求められているのかもしれない。

ANXIETY INDEX \ WEALTH WARFARE \ BODY DEBATES \ HOME HQ \ DOOM
COMEDY \ KINDER CULT \ GUIDE US

PRESERVATION

保全

古い時代から新しい時代へと移り変わる様は、全力疾走というより長距離走に似ています。頑張って挑み続けるうちに、消耗し、終わっていきます。これからの10年間では、精神エネルギーや身体的資質をもっとスマートに保護しながら、過去に関する知恵、アジャイルなイノベーションも求められています。ベストを求めつつも、最悪の事態にも備えて生きていかなければならない時代です。「保全」が重要な時代において、ブランドは先導して、避難、回復、そして必要不可欠なものを確保するためのサポートをしていく必要があります。

SURVIVALISM \ ZERO OUT \ MOOD GEISTING \ ROOTS REVIVAL \ FRUGALICIOUS \ MODERN MAKESHIFT \ STERILE SOCIETY



ADVANCEMENT

発展

この30年間、新たなテクノロジーはすべて「進歩」として受け入れられてきたが、ついにその影響が疑問視され始めている。テクノロジーによって、人々はよりオープンになり、つながりを手に入れ、様々なチャンスを得た一方で、人々の権利や価値、自主性が侵害されているのもまた事実である。テクノロジーへの依存度が高くなるにつれて、活用のルールなど体制整備の必要性も高まっている。利便性のためにプライバシーを犠牲にするのか、自動化のためにモノの真価を犠牲にするのか、あるいは最適化のために人間らしさを犠牲にするのか、生活者はそれだけの覚悟を持っているのだろうか？今こそ立ち止まって進化の代償に向き合う企業こそが、今後も生き残っていけるだろう。テクノロジーとの付き合い方を見直し、「人間らしさ」を第一に考えていく時代が来ている。

PLATFORM POLITICS \ DATA RUSH \ HELICOPTER TECH \ AI-IFY \ OPTIMIZED ANATOMY \ STABILITY PURSUIT \ STEALTH MODE



IDENTITY

アイデンティティ

社会常識は新しいものへと更新され、もっと流動的で寛容なアプローチが支持されています。人々のアイデンティティは仕事や性別、人間関係などステータスによってつくられるものではなく、これからは、より良い世界をつくるためにどれだけ貢献できるかが、人々の価値になります。そういった新たなアイデンティティの考え方を受容していくなかで、「人間であること」の境界線を押し広げているのです。つまり、物理的な存在としてだけでなく、オンライン上の自分のドッペルゲンガーを通して自分の存在が定義されるようになっていくでしょう。そんな社会においては、私たちに進化する力を与えてくれるブランドが将来的に生き残っていくでしょう。

VAPORIZED \ GENDER RULES \ WORK-LIFE BOUNDARIES \ RELATIONSHIP REBELLION \ ACTIVIST AWAKENING \ NEW SCHOOL



LIBERATION

解放

「復元」のときがやってきた。「本物」を追求するカルチャーは「抑圧」や「格差」「完全主義」「不必要な大量消費」からの解放を意味します。より健康的な未来を目指していくなかで、私たちは常にその場に合った新しいものを生み出し、残された古い価値観やタブーを脱ぎ捨て、前進していくことでしょう。新しい試みに慎重な対応をするブランドが遅れをとるなか、挑戦や試行錯誤を楽しむブランドが新しい時代の空気を創り出していくはず。自由の扉が今、あちこちで開き始めています。

COUNTER CANCEL \ UNGLOSSED \ CONSCIOUS CONVENIENCE \ MONEY
OUT LOUD \ DEATH UNDONE \ HEALTH HEDONISM



REBIRTH

再生

科学、歴史、倫理のすべての観点から、新しい社会作りの必要性が叫ばれています。何事も「包括性」が考慮される社会。女性に公平なチャンスと、力強く声を上げる機会が与えられている社会。エンターテインメントの分野でも、志高い目的を持つ社会。そして、地球にしっかりと配慮したアクションと投資が行われる社会。社会の構造を、新しいものへ作り変えるときが今ここにきています。また、人々は今、ブランドが新たな文化を开花させてくれることを待ちわびています。今年は再生の年。従来の常識を壊すディスラプションがより強く求められています。

INCLUSIVE BY DESIGN \ FEMPOWERMENT \ PLAY IT FORWARD \ CLIMATE CREDIT \ TRAVEL RIGHT \ FLUID SPACES \ REWILD RESILIENCE

チーム

STRATEGY

AGATHE GUERRIER - TBWA ワールドワイド CO-CSO

CECELIA GIRR - カルチャーストラテジーディレクター + スタップライター

SKYLER HUBLER - カルチャーストラテジスト+ スタップライター

ALEXANDER LANDAU - BACKSLASH コーディネーター + スタップライター

OPERATIONS

DANA FORS - BACKSLASH オペレーションディレクター

REGIONAL LEADS

ASAI MEYER - 北アジア

BELYNDA SIM - 南 + 東南アジア

CECILIA VALLINI - 中南米

JUSTINE CHARENTON - 欧州

MATT MORAN - オセアニア

NTOMBI MALAZA - アフリカ + 中東

WYRON ABRAJANO - 欧州

YVONNE CHUNG - 北米

DESIGN

SARA KLINE - シニアデザイナー

NATALIE MAYER - ジュニアデザイナー

PRODUCTION

CHAY LEE - コンテンツディレクター

PAT MCGUINNESS - シニアエディター

JASON LAUCKNER - プロデューサー/エディター



THANK YOU

グローバルインサイトを牽引する専門スポッターネットワークのメンバー
— 未来を見据えた世界について一緒に考えてくれたことを心から感謝します。

330人

70カ所

45カ国

8地域





Backslash はTBWAコレクティブを横断する70 のオフィスに在籍する 300 人以上のカルチャースポッターのネットワークが支えるカルチャーインテリジェンスユニットです。
Backslash は世界中の出来事を注意深く観察し、分析することで、TBWAとそのクライアントがカルチャーの変化をより良く理解し、予測するサポートをしています。

戦略、データとジャーナリズムをダイナミックに掛け合わせることで、
Backslashは今日のストーリーを明日のチャンスへと転換させます。

詳しい情報は backslash.com をご覧ください。

お問い合わせ先： backslashjp@tbwahakuhodo.co.jp